

# 運転者に対する指導及び監督の年間計画・実施表

平成29年3月12日 示1366号の指導監督指針の一部改正に  
 一般的な指導及び監督を次のとおり、全ての運転者に日常的・計画的に実施し、

計画する年度を  
記入する。

平成〇〇年度

事業所名：福岡県トラック運送 株式会社 福岡営業所

年間計画月を策定して下さい！

年間計画月 実施月日	実施項目
4月	1. トラックを運転する場合の心構え ・トラック輸送の社会的重要性 ・トラック事故の社会的影響 ・交通事故統計を用いた教育
4月 23日	
5月	2. トラック運行の安全 ・トラック運行に伴う義務を果たす ◆重大事故を引起こした場合は罰則及び加害者・被害者心理
5月 12日	
6月	3. トラックの構造上の特性 ・トラックの特性に合わせた運転 ・トレーラーの特性に合わせた運転(該当する事業所のみ) ・貨物の特性を理解した運転
6月 10日	
7月	4. 貨物の正しい積載方法 ・偏荷重の危険性 ・軸重に関する規定及び軸重違反を防止するための積載方法 ・荷崩れ防止のための走行中の注意点
7月 22日	
8月	5. 過積載の危険性 ・過積載による事故要因と社旗的影響 ・過積載による罰則 ・過積載の防止
8月 25日	
9月	6. 危険物を運搬する場合に留意すべき事項 ・危険物の性状 ・危険物輸送の基本事項 ・タンクローリー運行上の注意事項
月 日	
9月	7. 適切な運行の経路及び当該経路に ・適切な運行経路の選択と経路情報 ・情報を踏まえた安全運行のための留意点 ・許可運送における経路選択
月 日	
10月	8. 危険の予測および回避並びに緊急時における対応方法 ・危険予測運転の必要性 ・危険予測のポイント ・危険予知訓練
月 日	
11月	9. 運転者の運転適性に応じた安全運転 ・適正診断の必要性 ・適正診断結果の活用方法 ・診断結果に基づく個々の運転者の運転行動の特性を自覚させる
月 日	
1月	10. 交通事故に関わる運転者の生理的及び心理的要因及びこれらへの対処方法 ・交通事故の生理的・心理的要因 ・過労運転防止のための留意点 ・飲酒や薬物の影響による危険運転防止のための留意点
月 日	
2月	11. 健康管理の重要性 ・健康起因の事故と健康管理の必要性 ・ストレスチェック等の受診の必要性(労働者が50人以上は義務) ・健康管理のポイント
月 日	
3月	12. 運転支援装置を備えるトラックの適切な運転方法 ・運転支援装置に係る事故の事例 ・運転支援装置の性能及び留意点 ・ブレーキ制御、ハンドル操作の警告や支援を行う装置、車体維持を支援する装置
月 日	

教育を実施した  
月日を記載する！

基本的事項

複数の項目を同月に計画しても  
構いません！

## 運転者に対する指導及び監督の年間計画・実施表

平成29年3月12日施行 国土交通省告示1366号の指導監督指針の一部改正に基づき、一般的な指導及び監督の指針全12項目を次のとおり、全ての運転者に対して日常的・計画的に実施します。

※一般的な指導及び監督の実施マニュアル<第2編 本編:一般的な指導及び監督指針の解説> 参照

平成 年度

事業所名: \_\_\_\_\_

年間計画月 実施月日	実施項目
月	1. トラックを運転する場合の心構え※(P1~P9)
月 日	
月	2. トラック運行の安全を確保するために遵守すべき基本的事項※(P10~P19)
月 日	
月	3. トラックの構造上の特性※(P20~P32)
月 日	
月	4. 貨物の正しい積載方法※(P33~P41)
月 日	
月	5. 過積載の危険性※(P42~P47)
月 日	
月	6. 危険物を運搬する場合に留意すべき事項※(P48~P54)
月 日	
月	7. 適切な運行の経路及び当該経路における道路及び交通の状況※(P55~P62)
月 日	
月	8. 危険の予測および回避並びに緊急時における対応方法※(P63~P78)
月 日	
月	9. 運転者の運転適性に応じた安全運転※(P79~P86)
月 日	
月	10. 交通事故に関わる運転者の生理的及び心理的要因及びこれらへの対処方法※(P87~P97)
月 日	
月	11. 健康管理の重要性※(P98~P103)
月 日	
月	12. 運転支援装置を備えるトラックの適切な運転方法※(P104~P145)
月 日	

記入例

議題: (株)福岡県トラック協会 本社営業所 安全対策会議

指導及び監督の実施方式	どちらかに○
会議方式(※1)	○
研修方式(※2)	

実施方式を選んで○を付けて下さい。

- ※1. 関係者が集まり討論や決議をすること。
- ※2. 職務上必要とされる知識や技能を高めるために、ある期間、特別に勉強や実習をすること。また、そのために、行われる講習。

いつ・どこで・だれが実施したかを必ずご記入ください。

実施年月日: 平成00年4月10日	実施時間: AM10:00~AM11:30
実施場所: 本社営業所203会議室	実施者氏名: 永田 啓典
事業所名: (株)福岡県トラック協会	営業所名: 本社営業所

(具体的内容)

指針12項目は、1年ごとに繰り返し実施して下さい。

1. 危険の予測及び回避並びに緊急時における対処方法

交差点停車中に青信号で直進した際に、道路左側から赤信号で進入してきた軽自動車と接触する。被害は物損のみで、負傷者は、出ていない。どのような対策を立てるか、意見を出席者から求めた。意見を集約した結果、交差点進入時における周囲の状況確認を十分に行うことで対処が可能であるとの結論に至った。優先だからといって過信してしまうと事故に繋がってしまう。

2. 健康管理の重要性

ドライバーは、不規則な業務形態なので生活習慣病を患う人がいる。当社の運転者には、健康診断で健康状態のチェックし、日頃の体調面は、乗務前にヒアリング実施している。他にどのような取り組みがあるか、出席者から意見を求め出された意見をまとめた結果、運転者は乗務前点呼時に、血圧測定、体温を測り異常がないかを確認することになった。

出席氏名	押印 or サイン	欠席者フォロー			出席氏名	押印 or サイン	欠席者フォロー		
		日付	時間	実施者			日付	時間	実施者
福岡 太郎		/	~				/	~	
佐賀 次郎									
熊本 三郎									
大分 四郎									
宮崎 五郎							/	~	
長崎 六郎		4/11	17:00~18:00						
沖縄 七郎		4/13	10:00~11:00						

欠席者については、後日に別途上記教育を実施し 自筆のサインもしくは押印を求め、実施日、時間、場所、内容、実施者の記録を残すようにフォローして下さい。

乗務員に対する安全教育の記録は、教育記録簿と使用した資料の写し等と一緒に3年間保存して下さい。

